



# 25<sup>th</sup> ANNIVERSARY

京都エイブルワイズメンズクラブ設立25周年



*Kyoto Able Y's Men's Club*

京都エイブルワイズメンズクラブ



## 目 次

目次・歌詞	1
式典・例会次第	2
会長挨拶	3
祝 辞	4~7
謝 辞	7
第1期～第20期	8
主な活動記録(第21期～第25期)	9~13
メンバーリスト・編集後記	14



### ワイズソング

<1>

いざ立て 心あつくし 手を挙げ 誓いあらたに  
われらの モットー守る ふさわし その名ワイズメン  
絶えせず めあて望み この身を 捧げ尽くさん

<2>

歌えば 心一つに ともがき ひろがり行きて  
遠きも 近きも皆 捧げて 立つやワイズメン  
栄えと 誉れ豊か まことは 胸にあふれん

### 賛美歌 234A

<1>

昔 主イエスの 播きたまいし いとも小さき 生命のたね  
芽生え育ちて 地のはてまで その枝を張る 樹とはなりぬ

<2>

歴史のながれ 旧きものを 還らぬ過去へ 押しやる間に  
主イエスの建し 愛の国は 民よりのみへ ひろがりゆく

<3>

時代の嵐は 吹きたけりて 思想の波は あいうでども  
すべての物は 超えてすすむ 主イエスの国は 永久に栄えん

<4>

父なる神よ み名によりて 世界の民を ひとつとなし  
地をば 遍く み国とする み誓いを説く はたしたまえ

### YMCAの歌

<1>

若人の あつきのりは 百年の歴史をつづる  
とこしえの のぞみにもえて さかえあり  
YMCA 我らまた こぞりて起たん

<2>

開拓の みむねかしくみ 福音のみ旗は進む  
地の果ての 国々までも ひかりあり  
YMCA 我らまた 勇みて行かん

京都エイブルワイズメンズクラブ25周年記念例会

2015年5月16日(土) ● 京都ホテルオークラ

式典・例会次第



司会 小森 弥生

記念コンサート (17:00~17:50)

開 会 ..... プロフィールご紹介

“チャリティーコンサート”

「フォークソングをもう一度！」

ばんば ひろふみ 氏



●プロフィール 1969年「ジャッケルズ」でプロデビュー。1971年に「バンバン」を結成、  
1975年に【「いちご白書」をもう一度】がミリオンセラーとなる。  
バンバン解散後はソロで活動し1979年に【SACHIKO】が大ヒット。



記念例会 (18:00~18:50)

開会点鐘 ..... 会 長 砂 地 一 廣

ワイズソング 斉唱 ..... 一 同

聖書朗読 ..... 京都YMCA 連絡主事 辻 中 康 宏

賛 美 歌 234A ..... 一 同

会長挨拶 ..... 会 長 砂 地 一 廣

来賓紹介

祝 辞 ..... 宇治市長 山 本 正

祝 辞 ..... 京都YMCA 総主事 神 崎 清 一

祝 辞 ..... 西日本区 理事 松 本 武 彦

祝 辞 ..... 宇治市社会福祉協議会 会長 伊 藤 義 明

京都YMCA125周年記念募金贈呈 ..... 会 長 砂 地 一 廣

祝 宴 (19:00~20:30)

祝宴開会 ..... 石見神楽「大蛇」の舞 杉本弦さんと若者たち

食前感謝 ..... 京都YMCA 連絡主事 辻 中 康 宏

乾 杯 ..... 東日本区 富士クラブ 会長 樫 村 好 夫

祝 宴

アピールタイム

謝 辞 ..... 25周年記念実行委員長 上 澤 正 廣

YMCAの歌 斉唱 ..... 一 同

閉会点鐘 ..... 会 長 砂 地 一 廣

## 会長挨拶



京都エイブルワイズメンズクラブは京都キャピタルワイズメンズクラブのスポンサーにより、辻健太郎初代会長のもと17名のキーメンバーを中心に1990年2月18日京都YMCA三条本館のマナホールにて30名のチャーターメンバーにより設立総会が行われました。

6月24日に京都醍醐プラザホテルにおいてワイズメンズクラブ国際協会加盟認証状伝達式が盛大に行われ、日本区107番目のクラブとして京都南部地域にさらにワイズ活動を広げる目的で誕生いたしました。

ふり返りますと、設立初年度には韓国太田市の中都クラブとIBCの締結し国際クラブにふさわしいスタートとなりました。2年目から宇治市社会福祉協議会に参加させて頂き多様な社会福祉活動を学ばせて頂きました。4年目には京滋部の辻健太郎部長を先頭に天津市の滋賀県立体育館にてクラブ対抗大運動会が開催されました。当時の部会はホテルで開催されることが多い中、スポーツを通じて親睦をはかるユニークな部会となりました。

5周年目の1月17日には阪神淡路大震災が発生し、藤野会長は多くの5周年事業を自粛してその活動をすべて被災者救援活動にむけられました。そんな中で長い救援活動を継続的に支援されるYMCAの心優しいボランティアの原点を学ぶ事ができました。6年目には東日本区の富士ワイズメンズクラブとDBCの締結をさせていただきました。当初よりスキーツアーや温泉ツアーそして古都祇園のツアーなど和気あいあいの交流が続いています。また、スポーツ大会や地域の奉仕活動など市民を巻き込んだ活動は地元富士市でも大きく取り上げられています。

15周年目には念願の醍醐山科地域に大槻裕樹会長を中心に京都東稜ワイズメンズクラブをスポンサーすることができました。そして21期の3月11日には東日本大震災が発生し京都YMCAとともに西日本区のワイズメンズクラブあげての震災支援となりました。世界中の皆さんより暖かいご支援をいただき「絆」の大切さを教えて頂きました。

この25年間クラブを支えて頂いた多くのメンバーさんとの出会いと親睦に感謝申し上げます。

また、宇治市や地域で親しくお付き合い頂きお世話になった皆様のご支援にも心より感謝申し上げます。

最後に京都YMCA創立125周年とエイブルクラブの25周年を皆様ともにお祝いできたことを感謝申し上げ、今後とも変わらぬご交流とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

京都エイブルワイズメンズクラブ 25期会長  
砂地 一廣

### 国際ワイズ定義

強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う  
" To acknowledge the duty that accompanise every right "

### エイブル定義

親睦の内に素晴らしい人間を創るための  
愛にもとづく自己研鑽の場である





## 祝辞



### 京都エイブルワイズメンズクラブ 設立25周年を記念して

宇治市市長 山本 正

京都エイブルワイズメンズクラブが、めでたく設立25周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴クラブにおかれましては、「自らの中に可能性を求める」という理念をクラブ名とされ、1990年にクラブを結成されて以来、四半世紀の永きにわたり、宇治を含む京都府南部を中心に奉仕活動を継続してこられましたことは、歴代会長様をはじめ役員の皆様、会員の皆様のご努力と熱意の賜物であると心から敬意を表する次第でございます。

とりわけ、本市の生活介護施設「こもれび」の運営等に対する貴クラブの全面的なご支援や、「宇治福祉まつり」への積極的なご参加、京都YMCAリトリートセンターの笠取キャンプ場をサポートされるなど、青少年の健全育成と互いに支えあう地域社会への構築に大きくご貢献いただいておりますことに、心からお礼申し上げます。

本市といたしましても、「大きな可能性を持って」というクラブ理念を持ち活動しておられます貴クラブの皆様とともに、安全で安心して暮らすことのできるまちづくりの実現に努めてまいりますので、今後とも市政の良きパートナーとして、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、設立25周年を大きな節目とされ、今後さらに発展されますことを祈念いたしますとともに、会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



### 京都エイブルワイズメンズクラブ設立25周年に寄せて

宇治市社会福祉協議会 会長 伊藤 義明

京都エイブルワイズメンズクラブが設立25周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。平素は福祉まつりをはじめ、新春福祉のつどいへの積極的なご参加等、本会の運営に多大なるご理解とご協力を賜っておりますことに、この場をお借りいたしまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、近年、社会環境は大きく変化し、人間関係の希薄化、自然災害の多発が身近に迫るようになってまいりました。このような中、貴クラブは日常からのつながりを大切にされ、その輪をさらに広げようと日々努めておられます。その活動はまさにいざという非常時にも生かされる大変意義あるものと感じております。

本会では、第3次宇治市地域福祉活動計画を策定し「担い手づくりと参画者・協力者の輪を拡げる」ことを目標に掲げました。人と人、団体と団体等をつなげるコーディネーターとしての役割を果たしながら、これからは、支える側、支えられる側といった一方的な関係ではなく、支えている人が支えられ、支えられている人が支えるような、全員参加の地域福祉活動の仕組みが必要だと考えております。これからも貴クラブの皆様と連携をはかりながら、より一層支え、支えられの土壌がこの地に根付くよう努めてまいりますので、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、25周年を機に、貴クラブの今後さらなるご発展と、会員の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝辞



### 京都エイブルワイズメンズクラブ25年の歩みに感謝して (公財)京都YMCA 総理事 神崎 清一

京都エイブルワイズメンズクラブが設立25周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。  
貴クラブにおかれましては「自らの中に可能性を求める」という「Be Able To…」の理念をクラブ名とされ、1990年2月18日京都YMCA三条本館においての設立総会以来、京都YMCAの諸事業・活動への長さにおわたる多大なるご協力をいただき心より感謝申し上げます。

また、宇治福祉祭りワイズデーをはじめとした宇治市へのサポートや、重症心身障害通所授護施設「こもれび」へのご支援をはじめ宇治・醍醐地域でのボランティア活動を通じて、自己研鑽を重ねられているメンバーのみなさまに敬意を表します。

26年目を「さあ!新しいステージへ」～心機一転～でリスタートされた京都エイブルワイズメンズクラブの皆様が、京都YMCAの「次へのステップ みんな一緒に!」をキャッチコピーとする記念事業として「創立125周年記念カップ少年少女サッカー大会」を開催していただき、更には福島被災者支援リフレッシュファミリーキャンプ開催運営など、いつも京都YMCAとともに歩んでくださっていることに心より感謝申し上げます。

メンバーお一人おひとりのこれからの次の30周年、40周年への歩みの上に神様の導きと豊かな祝福がありますことをお祈り申し上げます。



### 京都エイブルワイズメンズクラブ創立25周年を祝して

西日本区 理事 松本 武彦

京都エイブルワイズメンズクラブが創立25周年をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。  
貴クラブは、京都キャピタルワイズメンズクラブをスポンサーとして、1990年、京都府南部、宇治の地に誕生され、創立以来、YMCAの青少年育成事業などのサポート、宇治市社会福祉協議会の登録団体としてハンディキャップを持った人々との交流や支援、国内外のブラザークラブとの交流など、ワイズ運動の原点をしっかりと踏まえて活動してこられました。また、創立15周年を記念して京都東稜ワイズメンズクラブを誕生させ、ワイズメンズ組織の拡大にも大きな働きをしておられます。

貴クラブの名称はその一部に英文～be able to～(対応日文:～することができる～)に由来する「エイブル」なる文字を含んでいます。貴クラブが「自らの中に可能性を求める」をクラブ理念とし、この理念をクラブ名称に籠めておくためであると聞いています。貴クラブの活動理念「自らの中に可能性を求める」は、自らの可能性を追求はするが、決して、自分の可能性を超えて無理することまでは含まない、楽しみながら夢ある活動が続けることを意味する、と理解しています。「いま、私は私にできることをする」—私の理事就任挨拶でも紹介しましたが、これは、南アメリカ大陸の先住民に伝わる物語の中でハチドリが述べたとされている言葉です。人は、それぞれの持つ力を、無理することなく、しかし、諦めることなく、精一杯発揮する、私は、この考えのもとで、自分の働きを活かしたく思っていますが、貴クラブも、このクラブ理念のもとで、しっかりと、ワイズ運動を展開してこられました。明確な活動理念を持つワイズメンズクラブであることは、クラブの存在意義を強くするものであり、クラブのあり方を揺ぎないものにする、と思います。なお、ここで改めて望むならば、貴クラブは、今回、周年記念を迎えられたことを機会に、これまでの歩みをしっかりと振り返り、これから進むべき道をさらに明確にしてゆくことも大事であろうと思っています。

貴クラブがチャーター25周年を迎えられたこと、西日本区を代表し、改めて、お祝い申し上げます。



### 京都エイブルクラブ25周年を祝して

京都部 部長 畑本 誠

エイブルクラブ25周年おめでとうございます。25周年といえば1/4世紀になります。よくぞここまで頑張っておられた事と感心しております。

ワイズデイにおいてもその独自の取組みをなさり、それを継続されている事に敬意を表します。

新しいメンバーも古いメンバーもこの25年という記念すべき時、心を合わせ今後の30年50年を目指して頑張ってください。

少人数で何かとやりにくいと思いますが、山椒は小粒でもぴりりと辛いと申します。今後共良質なクラブを目指して頑張ってください。

今後共全員力を合わせ益々頑張ってください。心より御願い申し上げます。

## 祝辞



### 京都エイブルワイズメンズクラブ設立25周年

京都キャピタルワイズメンズクラブ 会長 菅原 樫一

京都エイブルワイズメンズクラブが、設立25周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。設立の当初から、伏見と宇治を中心とする京都の南部地域を活動の拠点にして、地元に着した奉仕活動を、地道に力強く展開し、設立15年目には、東稜ワイズメンズクラブをエクステンションし、山科地区にもワイズの活動の輪を広げられる等、数多くの実績を上げてこられました。

京都エイブルクラブの、地域にとけ込んだ、地域の人々とのあたたかい交流に支えられた素晴らしい地域奉仕の活動ぶりは、他のワイズメンズクラブ全てが認めるところです。現代は、格差の広がりをはじめとして、さまざまな社会のひずみを抱えています。これらを解決してゆくには、それぞれに住んでいる地域で、人々がお互いに思いやりを持って、人と人が支えあい、お年寄りから若い人まで皆が明るい未来をめざして頑張るしかないと思います。京都エイブルクラブは、これまでの活動を通して、地域の人々に、温かい心の絆をつくり、未来を目指す地域社会づくりにしっかり貢献されて来ました。これからも、もっともっと地域の人々、若い人達にその活動ぶりをアピールされて、多くの人をワイズの輪に引き入れて、ワイズダム発展にまい進されることを、お祈り申し上げます。

今後とも、京都エイブルクラブの皆様とは、親戚・身内として気兼ねなく、又、志を一つにするワイズメンとしてお互いに刺激しあう仲間としてお付き合いいただけますようお願いして、お祝いの言葉とさせていただきます。



### 京都エイブルワイズメンズクラブ設立25周年

京都トップスワイズメンズクラブ 会長 舞田 智之

25周年おめでとうございます

砂地会長様、そしてエイブルクラブの皆様25周年おめでとうございます。

エイブルクラブの皆様とは毎年一回CATT合同例会でお会いするたびに、優しい声を掛けていただきそして親身にお話しして下さるのでとても印象に残っております。

特に私も宇治に在住という事で、入会間もないころは数名のメンバーの方になんでうちに入らなかったんやと声掛けしていただいたのも思い出に残っております。

話は変わりますが、我がトップスクラブも、エイブルクラブさんとは5年遅れでチャーターをし20周年となりましたが、クラブの大切な節目をエイブルクラブと共に迎られたこと、そしてこうして周年事業をされそれに参加できることも本当にうれしく思います。

これからも30周年、40周年と歴史を作っていくかと思いますが、この25年にわたるワイズ活動における皆様のご努力とご尽力を見習い今後ともにワイズメンズクラブを盛り上げていきましょう。

このたびは本当におめでとうございます。



### 京都エイブルワイズメンズクラブ創立25周年

京都東稜ワイズメンズクラブ 会長 佐藤 私子

親クラブの京都エイブルワイズメンズクラブの皆様  
クラブ創立25周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

エイブルクラブと言えば「地域奉仕」。

リトリートセンターのワークを初め、地域に根付いた活動の宇治福祉祭りの参加、重症心身障害通所授護施設「こもれび」への全面サポートなど年間を通じて、奉仕活動に尽くされた計り知れないものがあり、心より敬意を表するところです。

子クラブである京都東稜ワイズメンズクラブも昨年10周年を迎えることができましたがさらなる強い絆を深め、手を添え未来に大きな可能性を持って歩んで参りたいと思っております。

最後になりましたが、いつも東稜クラブを気にかけていただいて本当に感謝しております。

余り親孝行の出来てない子供ですが、今後ともよろしく願いいたします。

エイブルクラブがさらに飛躍されますことをご期待申し上げ、皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。



## 祝 辞



### 京都エイブルワイズメンズクラブ設立25周年

IBC 中都クラブ 会長 キム・ヒヨングク

親愛なる京都エイブルワイズメンズクラブのメンバーの皆様！  
そして、25周年のお祝いのためにご臨席くださった来賓の皆様！  
イエスキリスト様のお教えるように助け合うワイズメンの目的とIBC中都クラブの会長として京都エイブルクラブの25周年記念式典や例会に参加し、お祝いを伝える事が出来事を神様に感謝しています。ワイズメンの活動を通じてエイブルクラブと中都クラブの先輩方が素敵な交流を続けて来て下さった努力に拍手を捧げます。  
ワイズメンの目的通り、私たちはすべての人類のボランティアのための組織として設立された組織でございます。今までお互いの交流を通じて協力し発展したエイブルクラブと中都クラブの国際的な活動をみてワイズメンとしての誇りを持っています。  
今回の25周年の記念式典を通じてもっと発展・成長し、エイブルクラブが世界的クラブの中心になり中都クラブと共に世界中のワイズメンの手本になる事を願っております。  
歴代会長様方、大山裕巳会長、浅森一恵会長、そして現砂地一廣会長様と続けて来られた交流のお陰様で、兄弟クラブとして楽しく交流しています。  
今日特別に西部地区総裁のチェ ムンホン会長とチャン スンウク前総裁、そして前会長の皆様方のメンバーと共に貴重な場所に訪れる事が出来た事を光栄に思っています。  
IBC血縁関係のエイブルクラブと中都クラブがこれからも兄弟クラブとしてもっと幅広い交流を通じて互いの発展につながるよう願っています。  
任期は後残り僅かですが、京都エイブルクラブと中都クラブの交流のためにこれからも頑張りますので宜しくお願い致します。  
京都エイブルクラブの皆様本当におめでとうございます。



### 創立25周年を祝して

DBC 富士ワイズメンズクラブ 会長 檜村 好夫

京都エイブルワイズメンズクラブの創立25周年を祝し、心よりお祝い申し上げます。兄弟クラブとなって、20年になります。この間、様々な交流をさせて頂きました。宇治の「鳳凰」と「富士山」をモチーフとしたクラブパナーが、いつも例会場の正面に並んでいます、素晴らしいことです。貴クラブのプリテンでは、リトリートセンターでのYMCAへの奉仕や、その他の地域奉仕などを積極的になされ、いつも感動を禁じ得ませんでした。  
私共には、野外センター等が、付近にはありませんので、悶々としていましたが、富士山YMCAエコビレッジが横浜YMCAの野外センターとして、3万坪のフィールドが富士山麓に設備され、いろいろの行事に、参加をしています。よく似ていると感じ入っています。  
私共のクラブは、富士宮クラブをスポンサーし、貴クラブは、京都東稜クラブをスポンサーしました。各々の子クラブは親をも凌ぐ活発な活動で、両クラブは非常に似ている経過を辿っています。創立25周年を迎え、京都エイブルワイズメンズクラブが、今後ますます発展されることを祈念し、DBC活動が更に緊密になることを期待しています、楽しくやりましょう。誠におめでとうございます。

## 謝 辞



皆様さまのお支えの元、京都エイブルワイズメンズクラブは25年目を迎え、25周年記念例会を催すことが出来ましたこと心より感謝申し上げます。  
エイブルクラブは京都南部地域(宇治、伏見、城陽)を活動拠点として設立当初から宇治社会福祉協議会の会員として他の福祉団体と共に地域奉仕(CS)活動をしております。  
エイブルは(可能性)を求めて現在メンバー15名と小人数ではありますが「親睦と奉仕、素晴らしい人間形成と、自己研鑽の場として」先輩たちが築いた地域奉仕活動を継承していきたいと思っております  
25年目の節目(通過点)の例会に大変お忙しい中、ご臨席賜りました御来賓の皆様、IBC韓国中都クラブ、DBC富士クラブの皆様、また西日本区・京都部をはじめ本日も参集頂きました多くのワイズメン・メネットの皆様、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

25周年記念事業実行委員長 上澤 正廣





### 第1期

1990年7月1日～1991年6月30日

- 会長標語  
自己啓発を行い  
多面性を共有しよう
  - クラブ方針  
実践と体験
- 1期会長 辻 健太郎

### 第2期

1991年7月1日～1992年6月30日

- 会長標語  
さりげない愛を
  - クラブ方針  
大いなる汗と感動 体験しよう
- 2期会長 塩田 吉隆

### 第3期

1992年7月1日～1993年6月30日

- 会長標語  
限りなくやさしく  
すべてのために
  - クラブ方針  
着実な行動で確かな一歩を
- 3期会長 酒井 隆三郎

### 第4期

1993年7月1日～1994年6月30日

- 会長標語  
ワイズダムの  
広がり求めて
  - クラブ方針  
みがきあい ふれ愛の心で
- 4期会長 砂地 一廣

### 第5期

1994年7月1日～1995年6月30日

- 会長標語  
自己教育と多くの人に愛を
  - クラブ方針  
高めよう「親睦と奉仕」
- 5期会長 藤野 好

### 第6期

1995年7月1日～1996年6月30日

- 会長標語  
広げよう双方向の愛を
  - クラブ方針  
学びあい高めよう  
メンバーシップの向上を目指して
- 6期会長 林 良廣

### 第7期

1996年7月1日～1997年6月30日

- 会長標語  
満たそう奉仕の心
  - クラブ方針  
親睦・緊張・責任感
- 7期会長 北住 輝夫

### 第8期

1997年7月1日～1998年6月30日

- 会長標語  
ワイズスピリット原点  
心ゆたかに人あたたかく
  - クラブ方針  
いま心あらたに、  
社会貢献を自分磨きの第一歩を
- 8期会長 久保 和雄

### 第9期

1998年7月1日～1999年6月30日

- 会長標語  
さあ! つぎの  
ページに向かって
  - クラブ方針  
初心にかえり出合いを大切に
- 9期会長 大山 裕巳

### 第10期

1999年7月1日～2000年6月30日

- 会長標語  
希望
  - クラブ方針  
却下照顧
- 10期会長 藤澤 三知男

### 第11期

2000年7月1日～2001年6月30日

- 会長標語  
踏み出そう2000年の一歩
  - クラブ方針  
最初の一歩、いつか身の為人の為
- 11期会長 石井 重男

### 第12期

2001年7月1日～2002年6月30日

- 会長標語  
かぎりなく楽しく  
ことあるごとに感謝
  - クラブ方針  
新しいエイブルクラブの基盤造り
- 12期会長 小野 眞一

### 第13期

2002年7月1日～2003年6月30日

- 会長標語  
次のステップに向かって  
会員増強を
  - クラブ方針  
個性あるクラブ活動  
楽しもうクラブライフ
- 13期会長 太田 五博

### 第14期

2003年7月1日～2004年6月30日

- 会長標語  
知らしめようワイズ  
広めようワイズダム
  - クラブ方針  
現状打破で新しい風を!
- 14期会長 大橋 篤司

### 第15期

2004年7月1日～2005年6月30日

- 会長標語  
変革そして更なる  
親睦と奉仕十増強
  - クラブ方針  
おたがいさん
- 15期会長 山岸 喜良

### 第16期

2005年7月1日～2006年6月30日

- 会長標語  
より心豊かに、みのり多く
  - クラブ方針  
活動に変化を、クラブに潤いを
- 16期会長 虎田 悦子

### 第17期

2006年7月1日～2007年6月30日

- 会長標語  
人と人・言葉と言葉で  
親睦を
  - クラブ方針  
もったいない(感謝)・  
もったいない(環境)
- 17期会長 上澤 正廣

### 第18期

2007年7月1日～2008年6月30日

- 会長標語  
前進・行動・未来
  - クラブ方針  
楽しく自己研鑽
- 18期会長 大場 朗

### 第19期

2008年7月1日～2009年6月30日

- 会長標語  
私が手本と言える  
行動をしよう
  - クラブ方針  
今を生きている証として
- 19期会長 村田 信也

### 第20期

2009年7月1日～2010年6月30日

- 会長標語  
笑顔で(迎・向)え、  
感謝で(送・贈)る
  - クラブ方針  
無理せず、少しがんばろう
- 20期会長 片ヶ瀬 重雄

# 25<sup>th</sup> ANNIVERSARY 主な活動記録

## 第21期

2010年7月1日～2011年6月30日



21期会長  
白濱 廣史  
Shirahama Hiroshi

### 担当三役

- 副会長 大橋 篤司  
大場 朗
- 書記 砂地 一廣
- 会計 梶原 孝子  
浅森 一恵

### クラブ役員

YMCAサービス 上澤 正廣	ファンド・BF 太田 五博
EMC・交流 片ヶ瀬重雄	広報・プリン 虎田 悦子
地域奉仕・環境 梅谷 隆雄	メネット会 大場 朗
ドライバー 大山 裕巳	西日本区地域奉仕主任 林 良廣

直前会長 片ヶ瀬重雄

次期会長 梅谷 隆雄 連絡主事 久保田展史

### ●クラブ主題

## 「新しい一歩・新しい歴史」

### ●会長基本方針

ゆっくりと確実に

早い物で、もう25周年を迎える事に成りました。私が会長をさせて頂いたのは21期、20期の周年記念例会の翌年の事でした。節目の一つである20期が終わった翌年と言う事でクラブの主題を「新しい一歩・新しい歴史」として21期の一年をスタートしました。

そんな中でまず新しい事業と言う事で「歌声広場」を開催しました。昔、五十年以上前に成りますか、歌声喫茶と言う所があったのですが、我々の年齢の人は分かると思います。

リーダーの人の歌に合わせて観客が声を合わせて歌うと言うホールが昔に有ったのです。そんな雰囲気のをしたくて企画しました、宇治の生涯学習センターと言うホールを借りて百名前後の人に来て頂き、本格的な歌声喫茶が出来たのが一番の思い出に成りました。

又、私が会長をさせて頂いた時の一番の財産と言うと、京都部の17クラブの会長さん達との出逢でした。お陰様で京都部のイベントの有る時は同期の仲間達と会うのが楽しみの一つに成っております。それが縁で京都部のファンド主査もさせて頂いた次第です。エイブルクラブはメンバーも少なく徐々に高年齢化して行きますが、未来に向かって歩んで行きますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



西日本区大会



引継例会

# 25<sup>th</sup> ANNIVERSARY 主な活動記録

## 第22期

2011年7月1日～2012年6月30日



22期会長  
**梅谷 隆雄**  
Umetani Takao

### 担当三役

- 副会長 太田 五博  
          林 良廣
- 書記 大場 朗
- 会計 上澤 正廣  
          梶原 孝子

### クラブ役員

Yサ・ASF 白濱 廣史	ファンド・BF 浅森 一恵
EMC・交流 大橋 篤司	広報・プレン 砂地 一廣
地域奉仕・環境 大山 裕巳	メネット会 林 良廣
ドライバー 片ヶ瀬 重雄	

直前会長 白濱 廣史  
次期会長 大山 裕巳 連絡主事 中村 彰利

## ●クラブ主題 「親睦と奉仕の調和」

## ●会長基本方針 親睦の輪を広げ地域とともに

25周年にさいし、22期会長としてご挨拶申し上げます。

22期は宇治地域の皆さんにもっとエイブルクラブを知ってもらいたいとの思いから、歌声コンサートを開催しました。

又、宇治をもっとメンバーに知ってもらいたいとの思いから、宇治の歴史などの例会を行って行きました。しかしながら、空回りする事も多くありました。

しかし、エイブルの誇りとも言えるメンバーの和が、いつも私を救ってくれたことを思い出します。

このような素晴らしいクラブを、もっと多くの皆さんにも知ってもらいたいのですが、メンバーになるとなかなか増員出来ないのが現実でした。そのなかで一名の、新メンバーを仲間に来たことが、うれしい実績となり22期を締めることが出来ました。

25期を通過して、更なるクラブとなっていくことが使命だと言う思いです。



入会式



CATT例会



東日本区大会参加



こもれびバザー



京都部ボウリング大会



# 25<sup>th</sup> ANNIVERSARY 主な活動記録

## 第23期

2012年7月1日～2013年6月30日



23期会長  
**大山 裕巳**  
Ohyama Hiromi

### 担当三役

- 副会長 林 良 廣  
砂 地 一 廣
- 書記 上 澤 正 廣
- 会計 大 場 朗

### クラブ役員

YMCAサービス・ASF 太田 五 博	ファンド・BF 大 倉 幸 人
EMC・交流 梅 谷 隆 雄	広報・プリン 浅 森 一 恵
地域奉仕・環境 白 濱 廣 史	メネット会 砂 地 一 廣
ドライバー 大 橋 篤 司	京都部ファンド主査 白 濱 廣 史

直前会長 梅 谷 隆 雄  
次期会長 浅 森 一 恵 連絡主事 藤 尾 実

●クラブ主題  
「さあ!つぎの・つぎのページに向かって以心伝心」

●会長基本方針  
初心にかえり出会いを大切に

第23期のテーマは「さあ、つぎのつぎのページに向かって、以心伝心」としました。

本日5月16日、設立25周年例会を無事迎えることができ、クラブ内最年長としてもとてもうれしく思っています。

23期には京都部長公式訪問例会時に新しいメンバーとして24歳の若き江面Ysの入会式を迎えた事、8月には京都府南部に集中豪雨がありYMC Aリトリートセンター周辺もかなりの被害が出たこと、又ロンドンオリンピック、パラリンピックが開催された年。

クラブの行事としては25周年記念例会の富士クラブに訪問した事。

5月にはIBC締結20周年記念例会の韓国(大田市)中都クラブにも訪問したこと、本日どちらのクラブよりも多勢のメンバーが京都に来ていただき再会できたことに感謝です。9期につづき2回目の会長職を経験させていただきました。

これからも私は初心にかえり出会いを大切にしたいと思っています。



クリスマス例会



納涼例会



DBC富士クラブ25周年記念訪問



宇治福祉まつり(宇治市社会福祉協議会主催)



# 25<sup>th</sup> ANNIVERSARY 主な活動記録

## 第24期

2013年7月1日～2014年6月30日



24期会長  
浅森 一恵  
Asamori Kazue

### 担当三役

- 副会長 太田 五博  
砂地 一廣
- 書記 大場 朗
- 会計上 澤正 廣

### クラブ役員

Yサ・ASF 大山 裕巳	ファンド・BF 白濱 廣史
EMC・交流 大山 裕巳	広報・プレゼン 江面 智明
地域奉仕・環境 大橋 篤司	メネット会 太田 五博
ドライバー 梅谷 隆雄	25周年記念実行委員会 上澤 正廣

直前会長 大山 裕巳

次期会長 砂地 一廣 連絡主事 藤尾 実

### ●クラブ主題

「人と人との出会いを大切に」

### ●会長基本方針

楽しんで奉仕活動 心を一つにして感動を

24期は主題を「人と人との出会いを大切に」副題を「楽しんで奉仕活動心を一つにして感動を」としました。メンバーの減少、高齢化でメンバー増強、特に若いメンバーが入会しやすいクラブにと会則の変更、月一回の例会としてスタートしました。

YMCA、継続事業は月一回の例会になっても変わりません。クラブメンバー全員で役員、委員長です。なかには二つの委員長をして頂いています。一人一人の負担は大変ですが少人数なので纏まりは良く事業活動はスムーズにこなせました。

24期も残念ながら退会者がありましたが1名の入会式が出来ました。会長をさせて頂き大変喜ばしく心に残る経験です。

会長を任命して頂き色々な経験、多くの方との出会い、本日25周年を迎えられ感謝です。有難うございました。



入会式



第17回西日本区大会



# 25<sup>th</sup> ANNIVERSARY 主な活動記録

## 第25期

2014年7月1日～2015年6月30日



25期会長  
砂地 一廣  
Sunaji Kazuhiro

### 担当三役

- 副会長 上澤 正廣  
大橋 篤司
- 書記 山根 拓也
- 会計 大場 朗

### クラブ役員

Yサ・ASF 太田 五博	ファンド・BF・交流 梅谷 隆雄
Yサ・ユース 江面 智明	広報・プリテン 浅森 一恵
地域奉仕・環境・EMC 白濱 廣史	メネット会 上澤 正廣
ドライバー 大山 裕巳	25周年記念実行委員会 上澤 正廣

直前会長 浅森 一恵

次期会長 上澤 正廣 連絡主事 藤尾 実

## ●クラブ主題 「さあ!新しいステージへ」

## ●会長基本方針 心機一転

25期の主題は「さあ新しいステージへ」、副題は“心機一転”でした。例年のごとく宇治市を中心に地域密着で活動を展開しましたが、今期は今後の活動の方向性を再確認する年となりました。京都YMCA創立125周年記念事業の協力支援として宇治地域での少年少女サッカー大会の開催。地域奉仕の継続事業はNPO法人こもれびさんやNPO法人野の花さんへの協力と支援、宇治市福祉まつりへの参加、ワイズデーのアピール。25周年記念日帰り旅行の実施等盛りだくさんのプログラムとなりました。

5月16日の記念例会では第1部にばんばひろふみさんを招いて「フォークソングをもう一度」のチャリティーコンサートを開催し、皆様のご協力をいただき京都YMCAの会館改修資金等の募金とさせて頂きました。中都クラブと富士クラブからも多くのメンバーが出席頂き感謝申し上げます。30周年にむかっては計画的に資金を準備し、会員増強を着実にすすめる事の大切さを痛感した25周年でした。今期も無事15名の精鋭メンバーの協力で次期上澤会長へバトンタッチする事ができ心より感謝申し上げます。



日帰り懇親旅行  
(ふく)



東稜クラブと合同例会



クリスマス例会



YMCA創立125周年記念カップ少年少女サッカー大会サポート





# Kyoto AbleYs Men's Club

京都エイブルワイズメンズクラブ メンバーリスト



浅森 一恵  
Asamori Kazue  
生年月日/3.15  
2007.5.10入会



上澤 正廣  
Uesawa Masahiro  
生年月日/1949.11.13  
1995.1.10入会  
メネット 清子3.16



梅谷 隆雄  
Umetani Takao  
生年月日/1951.8.29  
1991.2.24入会  
メネット 佳加8.15



太田 五博  
Oota Itsuhiro  
生年月日/1949.5.3  
1990.2.18入会  
メネット 富美子3.23



江面 智明  
Ezura Tomoaki  
生年月日/1988.8.27  
2012.10.23入会



大継 昇  
Ohtsugu Noboru  
生年月日/1948.8.22  
2006.4.18入会



大橋 篤司  
Ohashi Atsushi  
生年月日/1949.9.16  
1993.12.23入会  
メネット 園子10.20



大場 朗  
Ooba Akira  
生年月日/1963.2.28  
1991.3.28入会  
メネット 美佐子11.30



大山 裕巳  
Ohyama Hiromi  
生年月日/1941.1.22  
1991.10.8入会  
メネット 直美2.20



梶原 正暁  
Kajiwara Masaaki  
生年月日/1945.5.24  
2012.2.14入会  
メネット 孝子10.15



白濱 廣史  
Shirahama Hiroshi  
生年月日/1950.1.7  
2003.5入会  
メネット 孝子4.15



砂地 一廣  
Sunaji Kazuhiro  
生年月日/1949.3.22  
1986.7.1入会  
メネット 敬子11.13



虎田 悦子  
Torata Etsuko  
生年月日/11.29  
1999.2.23入会



藤尾 実  
Fujio Minoru  
生年月日/1968.9.14  
連絡主事  
メネット 直子8.3



山根 拓也  
Yamane Takuya  
生年月日/1955.6.25  
2013.10入会  
メネット 利恵1.1

## 編集後記

### 25周年記念誌を制作するにあたり

25周年記念誌委員長 虎田悦子

10周年・15周年・20周年・25周年と4回の周年事業を経験させて頂きました。思えば入会してから16年が過ぎています。

本誌8頁の歴代会長第1期から20期の会長標語等をまとめるに当たりかなり原稿を圧縮する事を余儀無くされましたが、お一人お一人の顔が浮かび、こんな狭いところで押し込んで本当に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。特に設立当初のメンバーは、クラブの将来の方向性を決める一番大事な時期に、おそらく、手探りの状況下で会員同士が真剣な議論を交わし、大きな志と意思をもって、一つ一つ進めて来られたと思います。

私の入会当初も時には熱い激しい議論が飛び交う事も有り大変驚いた事もありましたが、今思えば本当に良い思い出です。これも真剣に取り組まれていた証しとして敬意を表します。

その試行錯誤の議論のお陰で確りとしたクラブの土台が築かれました。今は、会員数も多い時の1/3にも満たないですが、少ない会員で略同じ活動を維持・継続出来るのは、歴代の会長や会長を支えたメンバーが残して頂いたエイブルクラブの目に見えない資産のお陰だなぁとつくづく思い、歴代会長やメンバーに感謝の念に堪えません。

エイブルクラブが目指して来た方向性は、地域との繋がりを大切に育み、発展する事だと思います。これからも、クラブの活動自体を楽しみ皆様に支えられながら、活動を継続して行きたいと思えます。

末筆ながら、クラブを支えて頂いている全ての方々へ感謝申し上げます。

25<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

“Be able to ——”

「自らの中に可能性を求める」

*Kyoto AbleY's Men's Club*



京都エイブルワイズメンズクラブ25周年記念実行委員会

25期会長 砂地一廣 25周年実行委員長 上澤正廣

事務局 公益財団法人 京都YMCA

〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 Tel.075-231-4388